

ぎふ森林資源活用研究会

～ 地域資源発掘活用プロジェクト事業の成果発表を兼ねて ～

主催：(財) 岐阜県研究開発財団

日時：平成 24 年 2 月 28 日 (火) 13:00～17:00

場所：テクノプラザ第 1 会議室・第 2 会議室

概要：地域資源発掘活用プロジェクト事業実施にあたり、これまでに助成事業に採択し実施した研究グループの中で、成果普及の要望が強い林産資源活用分野の 8 テーマについて成果発表、及び専門家による講演、事例発表を実施することにより、本事業の成果普及を図るとともに、事業化を促進することを目的とする。

プログラム

11:00 成果品の展示 (～17:00)

13:00 会の趣旨説明 箕浦 秀樹

岐阜県研究開発財団産学官連携コーディネータ 箕浦 秀樹

13:05 開会の辞

岐阜県研究開発財団理事長 佐藤 道夫

13:10 招待講演 岐阜大学理事・副学長 小見山 章氏

「森の記憶」

14:00 休憩

14:10 成果発表

14:10 「木質ペレットの製造と高性能の飛騨高山産ペレットストーブの開発」

ひだ自然エネルギー協議会間伐部会 清水 裕登氏

飛騨高山産ペレットストーブ開発研究会 折敷地 淳氏

14:25 「間伐材を活用した宅地の液状化抑制工法の開発」

地域資源を活用する既設宅地の耐震補強技術に関する研究会 村田 芳信氏

14:35 「スギの木口面を利用した家具の製品化」

飛騨 SUGI 研究会 大川 伸吾氏

14:45 「杉や桧の特殊ハギ合わせ材を利用した新規デザイン木工品の開発」

中津川針葉樹活用プロジェクト 内木 盛良氏

14:55 「人と地球にやさしい木質ボードの不燃化」

地域植物資源利活用研究会 長田 剛和氏

15:05 「千鳥格子を原点に、加工・組み立ての機械化と耐震壁の可能性」

アーツ&くらふと岐阜 箕浦 健二氏

15:15 招待発表 「自作竹楽器群による演奏と楽器紹介」

チクチク
竹竹バンブー隊

15:45 「肌にやさしい竹繊維生地の開発と織物・ニットへの展開」

岐阜県繊維デザイン協会デザイナー交流会 山内 寿美氏

15:55 「『保育士推薦・岐阜の木のおもちゃ 10 選』から見たこと」

岐阜県木育推進協議会 山口 博史氏

16:05 意見交換ならびに展示品の見学

16:50 閉会の辞

岐阜県研究開発財団副理事長 山下 典男

発表の概要

◎招待講演 岐阜大学副学長 小見山章氏

森の記憶

岐阜県の森林の形成史を生態学的手法で再現し、自然に及ぼした人間社会の力が森林の形態にどのような変化を与えたか、森林資源を使う人が考えておかねばならないことなどを明らかにする。

◎ひだ自然エネルギー協議会間伐部会&飛騨高山産ペレットストーブ開発研究会

木質ペレットの製造と高性能の飛騨高山産ペレットストーブの開発 (研究会事業及び試作・実証試験事業)

部品をはじめ匠の技も含めてオール高山産のペレットストーブの開発を行い、間伐材や建築廃材などから製造された木質ペレットを燃料とする、世界最小サイズ、最高の暖房力、優れたデザインの試作品の製作に成功した。それに基づいて商品化を行い、公共施設を中心に普及が進んでいる。

◎地域資源を活用する既設宅地の耐震補強技術に関する研究会

間伐材を活用した宅地の液状化抑制工法の開発 (試作・実証試験事業)

既設宅地の液状化対策を目的として、狭小地でのクイ打設施工機械を開発し、それを用いて間伐材並びに砂利（もしくは瓦屑やレンガ屑）に下水汚泥焼却灰を固化材（県リサイクル認定品）として混合したものを地中に打設することで、地盤の締固め効果ならびに補強効果、さらには水圧消散効果による宅地の変形を抑制する減災工法を提案した。

◎飛騨 SUGI 研究会

スギの木口面を利用した家具の製品化 (仮題) (試作・実証試験事業)

長良杉を含む杉材の木口ブロックを作製して、それに様々な表面処理を施したものの強度評価、環境試験並びに暴露試験の結果により屋外での使用の可能性が確かめられ、これに基づき、新規デザインのニーズが高い木口面を利用した家具を商品化した。

◎中津川針葉樹利用研究会

杉や桧の特殊ハギ合わせ材を利用した新規デザイン木工品の開発 (試作・実証試験事業)

杉や桧から得られる板をウェーブ状などに加工して、それらをハギ合わせることによって、デザイン性に優れて、しかも反りの生じない新規材料の開発を行い、小径木の針葉樹の本格的利用への道を拓いた。これを基に、デザイナーの協力を得て、テーブル、インテリア、バッグ、バスマットなどの商品化を進めている。

◎地域植物資源利活用研究会

人と地球にやさしい木質ボードの不燃化 (試作・実証試験事業)

桧や杉の間伐材や低未利用イグサなどをチップ化し、それらを安全性の高い接着剤を用いて熱圧プレスにより、落ち着きある意匠性を持つストランドボードを製造している。これらは主に壁材、天井材などの内装材として使われており、木質系準不燃材料のニーズの高まりを受けて、本事業では、本ストランドボードの不燃化技術の開発を行った。

◎アーツ&くらふと岐阜

千鳥格子を原点に、加工・組み立ての機械化と耐震壁の可能性（試作・実証試験事業）

木をあたかも布で編んだように格子状に組み合わせて、絶対にはずれなくした千鳥格子はいつの間にか忘れ去られた飛騨の匠の技。これに最新の技を加えていっそう精度を高め、変形にも強い現代版千鳥格子を新たによみがえらせ、耐震性の高い建築物へと展開を図る。

◎招待発表 竹竹バンブー隊

自作竹楽器群による演奏と楽器紹介

数十種の自作竹楽器演奏や楽器づくりワークショップなど、岐阜を中心に、全国さらには世界へとその活動の幅を広げている竹竹バンブー隊（5名のうち、ここでは2名）が竹楽器の紹介とそれらを用いた演奏を行う。

◎岐阜県繊維デザイン協会デザイナー交流会（試作・実証試験事業）

肌にやさしい竹繊維生地の開発と織物・ニットへの展開

竹繊維に高温高圧での爆砕処理、開繊処理を加えて細かく繊維化したものを綿と混ぜて糸、生地を試作した。後加工を加えて、手触りが柔らかく、竹繊維独特の質感を残した織物やニットを製作した。

◎岐阜県木育推進協議会

『保育士推薦・岐阜の木のおもちゃ10選』から見えたこと（研究会事業）

「ぎふの木のおもちゃ10選」事業を通じて、県内の木工メーカーが制作したおもちゃを、機能、デザイン、価格、安全性などの面で審査、選抜、改良を行った。子供たちに誇れる山づくりになるよう「おもちゃの森づくり」事業を通じたネットワーク作りに取り組んだ。